

### 「はだかの王様」とは

1873年デンマークの童話作家、ハンス・クリスチャン・アン デルセン作。

本当の価値とは何か。人の弱さと滑稽さと。どこにでもある、 とある町での真実の日をめぐる物語。カンパニーデラシネラ がセリフを用いずに身体表現のみで古典の解体に取り組みま す。セリフに頼らず、物語に潜む核の部分を捉え、息づく普遍 性や人のサガ、言葉にならない非言語世界の豊潤さに日を 向けます。ぜひご期待ください!



## カンパニーデラシネラ

2008年、小野寺修二セルフユニットとして設立。身体性に富んだ演劇作品を創作し、マイムをベースとした独自の演出は、 世代を越えた注目を集めている。国内での活動のほか、海外公演など多数。また、小中学校巡回公演や高校の芸術鑑賞会 など、次世代へのアプローチにも積極的に取り組んでいる。

野外や美術館、アートフェスティバルなど、劇場内にとどまらない場所でのパフォーマンスも多い。

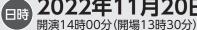
### 小野寺修二 (Shuji Onodera)

演出家。カンパニーデラシネラ主宰。

日本マイム研究所にてマイムを学ぶ。1995年~2006年、パフォーマンスシアター水と油にて活動。その後、文化庁新進 芸術家海外研修制度研修員として1年間フランスに滞在。帰国後、カンパニーデラシネラを立ち上げる。マイムの動きを ベースとした独自の演出で世代を超えた注目を集めている。第3回日本ダンスフォーラム賞受賞。第18回読売演劇大賞 最優秀スタッフ賞受賞。近年の主な演出作品はRooTS Vol.4『あの大鴉、さえも』 (2016年/東京芸術劇場他)、現代能楽集 IX『竹取』(2018年世田谷シアタートラム他)、『国際共同制作 TOGE』(2021年/神奈川芸術劇場)、『ふしぎの国のアリス』 (2022年新国立劇場他)など。 また、瀬戸内国際芸術祭2013にて、野外劇『人魚姫』を発表するなど、劇場内にとどまら ないパフォーマンスにも積極的に取組んでいる。2015年度文化庁文化交流使。



# ペントマイムワークショッ



2022年11月20日(日)



会場 富山県民小劇場オルビス(マリエとやま7F)

### 入場料金(参加費)無料

\*参加定員30名 \*事前申込必要(富山県民小劇場にお電話ください。) (先着順、参加定員に達した時点で締め切らせていただきます。ご了承ください。)

お問い合わせ・お申込み)富山県民小劇場 オルビス 〒930-0003 富山市桜町1-1-61 マリエとやま7F TEL076-445-4531

#### アクセス

- ●富山駅から徒歩(5分)
- ■富山地鉄バス富山駅前停留所
- ●有料駐車場あり



















